



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

March 2004 No.9
 Chartered July 20, 1982

標語 YS SLOGANS (2003~2004)	
クラブ会長	『個性を認めて共に前進』
国際会長	『Be Agents of Change』『変革の担い手となろう』
アジア会長	『New thinking, New Action』 『新たな思考で、新たな行動を!』
西日本区理事	『未来に架ける橋』
中西部長	『分ち合い 共に歩むワイズ』

クラブ役員 Officers	
会長	: 谷川 俊一
副会長	: 松浦 孝次
〃	: 石津 雅人
書記	: 山田 孝彦 (主)
〃	: 栗山 佳三
会計	: 三浦 直之 (主)
〃	: 鎌田 史朗
対外会長	: 松浦 和子
Y連絡職員	: 浜野 昌保

月間強調テーマ : 『 EF・JWF 』
 ≡≡≡ 3月の聖句 ≡≡≡ ≡≡≡ 3月の例会 ≡≡≡
 [Biblical Message of March] [March Club Meeting]

はっきり言っておく。あなたがたがわたしの名によって何かを父に願うならば、父はお与えになる。今までは、あなたがたはわたしの名によっては何も願わなかった。願いなさい。そうすれば与えられ、あなたがたは喜びで満たされる。
 (ヨハネによる福音書 16章23~24節)

○ 3月 第1例会
 日時: 2004年3月17日(水) 18:30~20:30
 場所: 東洋ホテル3階

- 司会 山田 孝彦君
1. 開会点鐘 谷川 俊一 会長
 2. ワイズソング ー 同
 3. ゲスト紹介 谷川 俊一 会長
 4. 聖句朗読 谷川 寛君
 5. 今月のテーマ 栗山 佳三君
 6. 日々の糧・軽食 ー 同
 7. ゲストスピーチ 山岡 義明氏
- 「健康と信仰一輝かしきシルバーライフのために」
 ー(宗教家、スーパーハイカー: 国内のほとんどの山やネパールなどを踏破されている)
8. インフォメーション 各担当
 YMCAニュース 連絡主事
 9. お誕生日祝い・ニコニコ献金 ー 同
 10. 閉会点鐘 谷川 俊一 会長

≡≡≡ Attention Please ≡≡≡

以下について、まだの方は3月例会にご持参をします。
 ① CS資金として、お年玉つき年賀はがきの当選切手を、1人あたり14シート、または金額換算で1,800円分を現金でお願いします。
 ② FF資金として、1人あたり1,800円お願いします。
 *3月例会当番 1班 (山田、鈴木、谷川寛、永島)
 *3月お誕生日 Happy Birthday!
 谷川 有美子メネット17日、松浦君22日、中村珠美メネット25日、鈴木君26日

○ 3月 第2例会
 日時: 2004年3月24日(水) 18:30~20:30
 場所: 大阪YMCA土佐堀館9階

【 クラブ統計 Statistics 】 下欄()は、うち 広義会員を表わす

2004年1月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 21(1)名	メ ン	12名	7名	2月: 切手 435 gr.	2月: 13,000 円
例会出席 12名	メネット	5名	1名	現金 2,000円	
うちメークアップ 名	ビジター	名	名	(03年7月~04年2月の)	(03年7月~04年2月の)
	ゲスト	3名	名	累計: 切手 4,899 gr.	累計: 253,200円
出席率 60.0%	合計	20名	8名	現金 17,000 円	(除く、クリスマス献金、オークション、記念献金)

キリスト教の祈りでは、必ず最後に「この祈りをイエス・キリストの名によって」お願ひ致します、とかお聞き届け下さい、と言うことは、既にご存じの方も多いことでしょう。この言葉の根拠の一つが今月の聖句として選んだ表記の言葉です。

ここで言っている「父」とは言うまでもなく「神様」を指してあります。それでは「キリストの名によって」と言う言葉にはどのような意味があるのでしょうか。

このコラムで何度か申しあげている通り、神はご自分の意志を伝えるために、人間の歴史の中にイエス・キリストを送られました。それがイエス誕生の意味です。

従って、私たちが神様に何かをお願いする場合も、神の仲介者であるイエス・キリストを通して祈ることによって、その願いが聞き届けられるとキリストが約束しておられるのです。

また、キリストの名前を出すことによって、苦しい時の神頼みと呼ばれるような人間の持つ好き勝手な、わがままな願いは陰をひそめて、社会のためや、他者の幸福を祈る利他的な内容に高められるものであると思います。

(聖句選、コメント：黒田毅之)

2月 第1例会

【 Report of the February Club Meeting】

(2月18日(水) 18:30~20:30 東洋ホテル)

フリテン：松浦 孝次

● 2月にしては暖かい夜、ゲストに可奈潤子さん、付添いの大阪 YMCA 藤岡宏樹さん、YMCA 関係者の浜崎正三さんを迎えて、わがクラブからメン12人、メネット5人が出席しました。

● 浜野昌保メンの司会のもとに、三浦直之メンが聖句の朗読、中村茂高メンから今月のテーマ「TOF・CS」について解説がありました。

「TOF」はクラブの食事を抜いて前饋に苦しむ人々(地球60億人のうち8億人)に奉仕すること、クラブとして@2,000円を拠出します。「FF」は、各家庭でも断食(ファミリー・ファスト)をすることで、各人@1,000円を拠出します。

「CS」はCS資金をもとに地域に奉仕すること、わがクラブが行っている事業としても、①10のちの電話支援 ②ミャンマーのチャイルドケア支援 ③多文化共生支援などがあります。各人がお年玉つき年賀はがきの当選切手、金額換算で1,800円を拠出するのがこれです。

谷川寛メンから、「TOF」を国際的にみると、日本の西日本区からは3,2万US\$を拠出し、世界の地域別拠出額の第2位であり、全体の13%を占めているという解説がありました。

上記についてまだ拠出がお済みでない方は、趣旨をご理解いたしてぜひご協力ください。

● ゲスト可奈潤子さんのスピーチ「ダンスの向こうに輝く人生を求めて」。宝塚歌劇団に10年在籍し、退団後 東宝ミュージカルなどで舞台活動を続けられたという、一見華やかな人生についてですが、その真摯さについてお聞きしました。

小学生のときからスターになることを決意した。そして、その夢を実現することができたのは、「こうなりたい」という夢を懐き、あきらめず、進んでいったからだ。いまの若い人たちは、ものがあふれるほどの恵まれた時代に生き、いろいろと捕われすぎ、情報にかく乱されて「自分の夢はなにか」がわからない。 〆

〆 可奈さんは、宝塚を退団したあと、さらに高い鳥を捜し求めて上京。森繁、松本幸四郎の時代で、東宝ミュージカルに出演し、彼女なりの夢を再実現した。そして大阪に戻り、呻吟しながら再び新しい道を探り、ジャズダンスに取組んだ。「スタジオ・グランパレ」の経営である。父の大きな負債を何年もかかって処理するという辛酸をなめたのもこのころ。

日本は満ちたりており、ぬるま湯に浸かっているのは憂は出てこない。それで子どもたちの練習には、きびしく接し、せめぎあいを見せている。

今は、みんな桜やランの花になりたがる。タンポポでいることに意味があるのに。人それぞれに、役割、使命を果たすことが大事だと思っている。そして「この世界はずばらしいといえること」

このあと、軽快なリズムにのって、座りながらのジャズダンス風トレーニングを、可奈先生の指導でみんながトライ。みなさん体が軽くなったことに納得した風であったのは、実によかったですね。そしてとにかく「歩く」ことが大切と、教えていただいた。

● 坂本千春メネットから、3月6日の中西部合同メネット会がいよいよ近づいてきたので当日はご協力をよろしく、とのメッセージ。

浜野昌保メンからは、YMCA 協定会員としてクラブメンバー@1万円を受取ったことのお礼、またクリスマス献金はまだ受けつけているのでご協力よろしく、との依頼がありました

● 藤原正巳メンから、マレーシアのクアラ・ Lumpur のフェイスメンズクラブと2月2日に交流をもったこと、松浦孝次メンは同クラブからプレゼントされたペナントとバッジを紹介しました(詳しくは第4面)

● お誕生日祝いを行って閉会。つづいて、ホテル1階の「アナトリア」で、可奈さんを囲んで15人が集まり、さらに活発な意見交換が行われたのです。



(上：1月例会の風景Ⅰ——可奈潤子さんのスピーチを聴く)
(下：1月例会の風景Ⅱ——可奈さんを囲んでの2次会)

February 18, 2004

At the club's February meeting, a total of 20 Y's men, Y's menettes and guests in attendance. With its emphasis on the Time of Fast and the Community Service activities, Y's man SHIGETAKA NAKAMURA outlined the meaning and purpose of the programs, followed by Y's man KAN TANIKAWA's remarks about the TOF International program, based on the statistics of Y's Men International, Geneva.

We learnt from his remarks that our Japan West Region was ranked second at the TOF contributions after the Denmark Region in 2002/2003.

Y's men KOJI MATSUJURA and SAM FUJIMURA reported their recent trip to Kuala Lumpur, Malaysia, where they had a chance to develop fellowship with members of the Kuala Lumpur Y's Men's Club.

They were particularly impressed with the Club's excellent achievement records of recruiting eight new members within the past eight months.

The highlight of the meeting was the speech made by Ms JUNKO KANA, a reputable ballet instructor and a graduate of reputable Takarazuka Girl's Revue School.

We were all touched with her firm belief that all the dreams come true, once we strongly desired, doing our best to aim at the purpose. We learnt, under her instructions, some light physical exercise programs useful for keeping our body and mind in good shape.

At the meeting, the donations and contributions, together with commemorative New Year stamps from the members were collected. The total amount of Yen 43,621 was donated to the Community Fund.

IBCクラブニュース

IBC・DBC委員長：藤原 正巳

"Alpha from Hawaii": Nuuanu クラブ・プリテンから

① 2月はTOFの月

2月はタイム・オブ・ファスト月のため、例会では通常のディナー代5ドルのほか、追加に5ドルが必要です。

② 重点施策はYMCA ユース・サポート・キャンペーンの支援

YMCA よりドラッグ汚染の拡大防止を目的とした上記キャンペーンへの支援が求められています。ヌアヌクラブは、Linda・Lingle 知事も参加する 25 日の報告会をホストする予定で、特に金額の大小を問わない献金が求められています。

イラン震災救援街頭募金

書記 山田 孝彦

2月11日(祝)午後「イラン震災救援街頭募金」を梅田と心斎橋で行いました。センテニアルからは、鎌田メン・メネット・コメット；坂本メネット；隅田メネット；浜野；松浦；三浦；山田各メンが梅田で健闘しました。ご参加の皆さまごろうさまでした

また大阪 YMCA からは、職員、リーダー、学Y、その他ワイズ以外の協力会員の方も加わって、文字どおり3者(大阪YMCA、阪和部、中西部)の共働(協同)プログラムとなりました。

[以下、中西部からの情報]

○ 中西部関係参加人数(メネット、コメット含む) 53名
大阪(7名)、大阪土佐堀(3名)、大阪豊中(1名)、大阪千里(1名)、大阪高槻(2名)、大阪センテニアル(9名)、大阪西(9名)、大阪茨木(2名)、大阪セントラル(3名)、大阪なかのしま(9名)、大阪ヴェクセル(7名)

○ 募金額は、梅田：103,155 心斎橋：89,771 円
計 192,926 円



(街頭募金にがんばる 鎌田メン・メネット・コメットの3人)

♂ ③ ヌアヌクラブは5月29日にはチャーター40周年を迎えます(記念行事については特に記述はありません)

④ ラスベガスでのハワイ地区大会には6名が参加

5月に開催予定の地区大会には、Hiranaka 夫妻他6名の出席が予定されています。

"Bauhinia News": 香港 Bauhinia クラブ・プリテンから

① 中国本土の小学校に現金・物品を寄贈

12月13日、14日にボヒニアクラブのSophia Fong さんが広東省の小学校を訪問し、同校に11,000元(約87,000円)を寄贈しました。このほかクラブからは、小学生やその家族に文房具や冬用の衣類も贈られました。

② 2月例会では新入会員の入会式を挙行

2月9日開催の2月例会では Ms Jacqueline Tsui の入会式と、Dr. Laura Lauによる卓話が予定されています。

マレーシア 見聞記

松浦 孝次

1月末から5日間、マレーシアのクアラルンプール・Y MCAと、同ワイズメンズクラブを訪問しました。Y MCA、またワイズのメンバーというだけで、格別の説明がなくても相手と心が相通じるということを実感したのがたい体験でした。

谷川 寛メンがアジア太平洋Y MCA同盟委員長の立場にあり、Y MCAからのお誘いあって藤原正巳メンと松浦夫婦の3人が氏に個人的に同行した旅です。熱帯の国マレーシアは30~35℃の暑さ、ちょうどチャイニーズ・ニューイヤーの最中で、街頭は人々で溢れかえっていました。

クアラルンプールのY MCAでは、2月3日「チャイルドケア・センター」の開所式が、Y MCAボードメンバーや Albert Chong 総主事ほかY MCAスタッフやボランティアの人たちが出席して、谷川 寛メンによって執り行われました。私たちは日本から持参したおもちゃや紙芝居などを贈呈しました。同センターは、子どもたちの成長につながるいろいろなプログラムが用意しています。地域に向けてのY MCAからの発信であり、地域のニーズが高い事業の提供です。

クアラルンプールのワイズメンズクラブとも、一タ交流のときをもちました。メンバー約20人、Y MCAのボードメンバーも多いようです。元気一杯のクラブで、なかでも Maryさんはこの8ヶ月間に8人の新入会員を勧誘し成功したという女傑。その秘訣は？と聞くと、「楽しいことが多いよ、ぜひ一緒に楽しみましょう！」と言って、積極的に活動に誘うことだと。いつの日か、わがクラブ（だけではないかな）に来てもらうことを約束(?)しました。

マレーシアは多民族国家。60%のマレー系、30%の中国系、若干のインド系などからなり、宗教は、イスラム教、仏教、儒教、道教、キリスト教など多彩です。

今回の訪問は、谷川メンの知人であるマレーシアY MCAの長老 Liew Mun Khai さんにコーディネートしていただいたもの。ご当地の人々のホスピタリティに感謝です。また、谷川さんの国際的な顔の広さと、谷川・藤原お2人の練達の英語力に感心させられた旅でした。



(クアラルンプールY MCAの「チャイルドケア・センター」の開所式で Y MCAボードメンバーと)



(クアラルンプールのワイズメンズクラブと交流しました)

東山荘ワイズメンズクラブ 1月例会報告

山田 孝彦

「東山荘ワイズメンズクラブ」25周年記念例会は、さる1月2日 午後1時から御殿場東山荘1号館第1会議室で行われた。

毎年12月29日から1月3日まで、御殿場にあるY MCA同盟東山荘では「年末年始家族パーティ」が開催されているが、これに参加しているワイズメンが集まり「1月例会」を持っている。このパーティは今年で38回目という歴史をもっており、「ワイズ例会」は実に25回続いているという。年1回だけの集まりだが、ちゃんとバナーもあり由緒正しいワイズ例会といえる。

しかも東西二つに分かれた今日でも、全国区で集まっているところが嬉しい。今年はメン・メネット31名が出席し、賑やかな集会となった。プログラムの中心は、出席者がそれぞれ属する部やクラブのトピックを報告して情報交流するのだが、半数以上が毎年参加の常連で、すぐにうち解するところがまたワイズらしい。

さて、東山荘家族パーティは1966年からという息の長いプログラムで、こちらも常連参加者が多い。我がファミリーも11回目の参加。一番下の孫は、まだ母親のお腹の中から参加してきたことになる。子どもには「麻作り教室」「麻蓑が大会」「自然探検ツアー」、大人には「木彫・竹細工教室」「エアロビクス」から「ウェルネスセミナー」まで、自分の好きなプログラムを選んで自由に参加できるのが嬉しい。

しかし、何といても「富士山ネイチャープログラム」が東山荘ならではの体験である。「富士山が真っ赤に染まる初日の出」「富士山の小樹海と溶岩樹形」「富士山の巨樹群」というのを実際に体験し触れることが出来る。

東山荘では富士山の強力（山頂に飲料水や重い荷物を運ぶ人）をしていたという「白鳥さん」が、このネイチャープログラムの仕掛人。普通の登山道では味わえない間道や獣道、自然が作り出した倒木や洞窟など、不思議な光景に案内して、貴重な体験をさせてくれる。それも、中高年者や女性や子どもでもついて行けるように細かい配慮をしてくれる。アシスタントとして、手を差し伸べたり、後押ししたり、飲み物まで運んでくれる若者たちがまたすがすがしくて頼もしい。この若者たちが年々成長する姿に出会って、Y MCAならではの人材育成と楽しみにしている。

お知らせ

1. 中西部合同メネット会

(ホストクラブは、わかセンターアルクラブ)

日時: 04年3月6日(土) 11:30(受付)~14:30

場所: 大阪YMCA会館 10階会議室

プログラム: 議事、昼食(幕の内)、桂 吉弥さんのお断

2. 第7回 西日本区大会

日時: 04年6月12日(土)~13日(日)

11日(金)は前夜祭があり

場所: 加賀・山代温泉 ホテル百万石、加賀市文化会館

申込は各自で。なお3月31日までの申込は割安です。

3. 土佐堀YMCAの環境教育セミナー

日時: 04年3月22日(月) 19:00~20:30

場所: 大阪YMCA会館 502号室 会費は無料

プログラム: 「燃料電池とは?」環境改善の切り札

講師: 宮崎 義憲氏(産業技術総合研究所)

2月 BF ニュース

【 Report of the Brotherhood Fund in February 】

BF委員長: 栗山 佳三

◇現金提供者: 栗山、山田君

◇切手提供者: 浜野、山田、石津、鈴木、上月氏、松浦、
谷川寛、栗山、隅田、三浦、福永、藤原君

今月の殊勲賞: 浜野君 130gr、山田君 120gr

2月第2例会

【 Report of the February Club Meeting 】

(2月25日(水) 18:30~20:15 大阪YMCA)

1. 3月第1例会プログラム

第1面のとおり。ゲストスピーカーに山岡謙明さん(鎌原正巳メンの知人)を迎える。

2. 中西部合同メネット会の準備について

坂本千春メネット主査が中心になって準備を進めてきたが、いよいよ間近にせまった。おかげで74人が出席予定。

プログラムや会場設定について確認を行い、当日はメネットは10時、メンは10時半にYMCA会館に集合することにした。

3. 多文化共生子どもサミットについて

8月に、「子どもフレンドリーシップキャンプ」を行う計画について、中村茂高メンから企画書案の説明があり、とくに予算と資金調達について検討した。資金不足のため中西部の支援や助成団体に助成を求めることを要する。なお、日系ブラジルの子どもたちは、「時期尚早のため今回は見送り」との連絡が入ったので、その分「ならの子どもたち」の参加人員を増やす。

4. その他

TOF (@2,000円)、CS (@1,800円)、FF (@1,000円)を、3月末までにクラブとして西日本区に振りこむ。TOFはクラブが負担するが、CS、FFはクラブ員各自が拠出する。よってCS、FF未納の方はぜひ3月末までに拠出をお願いする(三浦会計or中村茂高CS委員長まで)

YMCA ニュース

大阪YMCA統括本部 浜野 昌保

春を迎えると、なぜかウキウキしてしまうのは私だけでしょうか? 春になるとYMCAでは新しいスタッフがかわります。現場研修をしておりますので見かけられたら暖かいお声をかけてください。よろしくお願いたします。

★鉄わんクラブ ~食から広がるあなたの世界~

日時: 3月14日(日) 午前10時~午後3時

場所: 里山の自然学校「紀泉わんわん村」

問合せ: 大阪YMCA TEL06(6441)0894

*春を探しにでかけませんか?とれたての山菜を使っておいしい料理をつくりましょう。

★第131回大阪YMCA早天祈禱会

日時: 3月19日(金) 午前7時30分~8時30分

場所: 大阪YMCA会館 10階チャペル

証し: 洪 基雄氏(大阪北YMCAスタッフ)

問合せ: 大阪YMCA TEL06(6441)0894

★講演会「本と作文が育む子どもの力」

日時: 3月19日(金) 午前10時30分~12時

場所: YMCA川西センター

問合せ: 北YMCA TEL06(6867)4744

*映像偏重の時代に生きる子どもたちのために、子どもに本を読ませる意味を学びます。



【 Messages from the Club Members 】

“こぼさた”メッセージ

○3学期になり、教職員ひとりひとりの面談や人事が入ってきました。2人教頭のひとりが1月20日よその学校の校長に抜け、いま教頭1人です。朝早く、夜遅い帰ります。皆さんによろしくお伝えください。

(新保 正秋)

○1月、2月連続欠席になりました。皆さんによろしく。

(田中 穰二)

○街頭募金、皆様大変ご苦労さまでした。鎌田家のみなさまが全員参加されたとのこと、感激です。

私はこのところ、寒さのせいもあるいは歳のせい、体調を少しくずし家に引きこもっています。風邪がなかなか治らず困っております。発熱するほどではないのですが、咳がとれない毎日です。お年玉切手は中村さん宅へ直送いたします。

(黒田 巖之)

会員からのメッセージ

○人生で目的を持って生きていくこと、忍耐をして継続することで目的を達成できるということに共感できました。

(石津 雅人)

○今日のゲストスピーカー可奈さんは、自分を信じ自分の意思を貫き通したとてつもない大きな人とお見受けしました。私にはとてもとても・・・。

(栗山 圭三)

○夢を持ち続けるという可奈さんのお話を聞いて今からでも、何かやれるかもしれないという希望を持ちました。

(坂本 千春)

○夢を思いかけていつも輝いておられるすてきな可奈さん。美しい舞台を見てうっとりしていた頃を思い出しました。あの頃はたくさん夢をいただきました。ありがとうございました。

(隅田 恵子)

○タイム・オブ・ファストの月、アジアの貧しい人々のことを考えます。わずかな金額でも献金することができることを感謝します。

(谷川 寛)

○可奈さんの、夢を持ち続けることが夢を実現できる素晴らしさを、実体像に基づいた良い話をお聞きしありがとうございました。

(中村 茂高)

○ああ『鍵を開けて家に入れる』ことの幸せ。先日、夕方マンションのカギが壊れて修理を頼んでも一晩開かず、悩んでホテルに宿をとりました。

寒い思いのする一晩、可奈さんのお話しに感謝！でした。

(中村 幸枝)

○私も60歳になったので、これからは自立して新しい生活を目指し変身していきたいと思えます。4月から新しい仕事始めます。

(富中 彬)

○可奈さんよりロマンに溢れた人生訓を学び、喜ばしい限り！さすがですね。

(福永 嘉彦・滋子)

○お年玉切手、リースコイン、FFと到着早々忙しい作業でした。1月は体調が悪く欠席いたしました。やはりセンテニアルの例会は雰囲気があって良いですね。「願えば夢はかなえられる」という可奈潤子さんのお話は大変感動的でした。

(藤原 正巳)

○今日は可奈潤子さんのお話しか聞けるので楽しみにしてきました。夢を持ち続けることが大切で、あきらめないで達成できることがわかりました。

(松浦 和子)

○可奈さんのお話は人生体験に裏付けられた貴重なものでした。スタジオでご指導されている姿も拝見したいものと思いました。氏のきびしさ、りりしさをより実感できるだろうから。

(松浦 孝次)

○可奈さんのお話を聞きながら、70過ぎたからといって老いを意識したりしてはられないことを再確認できました。これからもいろいろ「成長」し続ける希望がわいてきました。感謝。

(山田 孝彦)

○可奈さんのお話を聞いて夢を持ち続ける大切さを痛感しました。

(三浦 直之)

個人消息

○鈴木 謙介メンが軽い傷をされ、2月例会を休まれました。しかし山田孝彦メンによれば、お元気で心配はないとのこと。



(1月例会の風景 III—可奈潤子さんの指導で 座りながらの柔軟体操を)



(「イラン地震救援にご協力ください・・・」街頭募金で)

《 編集後記 》

● 3月例会のゲスト可奈潤子さんの話しをお聞きし、さて今、私の夢はなんぞや?と自問します。残念ながらはっきりしたものはありません。みなさんはいかがでしょう?

● マレーシアのクアラ・ランプールのYMCAおよびフィズと交流しましたが、いろいろな民族・宗教の人たちで構成され、まさに多文化が生きていました。

(松浦 孝次)